美しい森林づくり全国推進会議
株式会社バンダイナムコホールディングスが担う
美しい森林づくりへの活動

「美しい森林づくり全国推進会議」の構成団体で、
地球の将来を考えた環境保全に積極的に取り組んでいる株式会社バンダイナムコホールディングス。
今回、経営企画部の佐藤正氏におもな活動や
「美しい森林づくり全国推進会議」での役割などを伺いました。

長野県のバンダイナムコの森は自然に触れ意識を啓発する拠点

〝夢・遊び・感動〟を世界中の人々に提供し続けることを理念としている株式会社バンダイナムコホールディングス。〝CSR（企業の社会的責任）への取組〟も多岐にわたり、地球の将来を考えた環境保全にも積極的に取り組んでいます。長野県志賀高原に位置する〝バンダイナムコの森〟もそのひとつ。今回、経営企画部に所属する佐藤正氏にお話を伺いました。

「二〇〇七年四月に、財団法人下高井郡山ノ内町和合会との間で〝森林の里親契約〟を結ぶ形で約四七haの旭山の森林を〝バンダイナムコの森〟と名付けさせていただき、活動を行っています」（佐藤正氏）

その年の五月には調印式典が開催され、調印記念プレートの交換やグループ社員によるヤマモミジ五〇本の記念植樹が行われました。また、十月には環境活動や環境経営について考える〝バンダイナムコグループ環境サミット〟を〝バンダイナムコの森〟で開催。昨年はグループ社員から約二〇名が参加し、巣箱一一個とエコに関する標語を記載した四五枚のプレートが設置されました。

「活動が始まって今年で二年目となりますが、社員の意識啓発の場にしたいと思います。社員が自主的に足を運んで、〝バンダイナムコの森〟の中で自然に触れることで、それぞれが自由に感じたことが、のちに仕事のアイディアに反映されればと考えています。また、ここ一年ほどで地域の方々との交流も増えてきましたが、我々にできる範囲内でお役に立つことがあればと考えています。〝バンダイナムコの森〟は〝夢・遊び・感動〟の精神を忘れることなく、環境への意識を啓発する拠点。今後も社会貢献、地域交流をふくめた活動を行っていきたいと思います」（佐藤正氏）

経営企画部の佐藤正氏

また、バンダイナムコグループのバンダイ

ではバイオマスチップを使用したカプセル玩具にも取り組んでいます。間伐材を商品に利用した〝アースカプセル　昆虫採集〟は二〇〇七年一二月に行われた〝第四回エコプロダクツ大賞〟のエコプロダクツ部門において農林水産大臣賞を受賞。その後もキティのアースカプセルなども販売し、話題を集めました。

「販売しているバイオマスチップを使ったアースカプセルは千葉県産の間伐材を使用しています。ガシャポンのカプセルは購買意欲をそそりますが、プラスチック製のカプセルは買ったあとは多くの場合ゴミになってしまう。その問題を解決できないかと考えたことが、〝アースカプセル〟の出発点です。最初は紙カプセルを作ったのですが、試行錯誤を繰り返したのちに、間伐材を使ってみたらどうだろう？　というアイディアが出てきたんです。今後もこういう発想を活かして商品を作っていきたいです」（佐藤正氏）

何ごともおもしろがって楽しむのが会社のモットー。「美しい森林づくり全国推進会議」の参加団体として株式会社バンダイナムコホールディングスは今後も独自のアイディアを活かし、取組を推進していきます。

1

2

1：“バンダイナムコの森”での記念植樹

2：“バンダイナムコグループ環境サミット”では社員が森林整備を体験

3：間伐材を商品に利用した“アースカプセル　昆虫採集”

3

株式会社バンダイナムコホールディングス

2005年にバンダイとナムコが経営統合して発足。世界中の人々に“夢・遊び・感動”を提供し、新しい価値を創造し、“世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ”を目指す。